

モロッコ経済日誌 2014年11月

在モロッコ日本大使館経済班

I. 国内経済

1. 指標等

Standard & Poor's のモロッコ格付け¹

14日、Standard & Poor's が、外貨及び国内通貨による短・長期国債について、モロッコの格付けを BBB-/A-とした。その判断材料は、付加価値の高い部門の生産加速化による経済成長の復活、財政赤字の継続的正、重要な各種改革の続行。また、自動車、航空、電子機器部門の急速な成長により、2017年の経済成長率は5%に達すると予想。

モロッコの富豪数²

18日、スイスのUBS銀行とシンガポールの調査会社 Wealth X が発表した調査結果によると、2014年にモロッコで3千万米ドル以上の資産を保有する人の数は35人。アフリカでは10番目に多い(南ア835人、ナイジェリア645人、エジプト595人、ケニア170人、タンザニア120人、アンゴラ115人、チュニジア65人、リビア65人、エチオピア60人の順)。

2. 建設・公共事業・インフラ等

カサブランカ - タンジェ間 TGV³

モロッコの複数のメディアが、カサブランカ - タンジェ間 TGV の完成が当初の予定の2015年末ではなく2017年第1四半期末になると報じている。管轄当局ではコメントを控えている。メディアによれば、土地収用問題の解決に時間を要するため。また、一部報道は、運転士の研修機関がモロッコ国内で未整備のため、運転士養成を外国に頼る問題を指摘している。

3. 農業・漁業

4. 産業

マラケシュ観光戦略⁴

国際ゴルフ観光業連盟 (IAGTO) による、アフリカ・湾岸諸国・インド洋地域「2015年最優秀ゴルフ観光地」をマラケシュが受賞。マラケシュには現在7つのゴルフ場と3つの建設中ゴルフ場がある。これから3年でゴルフ場数が倍増する見込み。ゴルフ観光客は通常の観光客5人

¹ エコノマップ(11月21日)

² Les Eco 紙(11月24日)

³ AFP 通信(11月4日)

⁴ エコノミスト紙(11月5日)

分の価値を生み出すと言われる(通常の観光客は1回の滞在で平均1千ユーロ支出,ゴルフ観光客はその4倍を支出し年間3~4回滞在する)。

ハイブリッド車と電気自動車の売り上げ⁵

モロッコ自動車輸入協会(AIVAM)によれば,ハイブリッド車と電気自動車のモロッコでの売り上げ台数はごくわずか。2014年にホンダの Insight が6台,トヨタの Prius が10台,ルノーの Twizy が21台売れたのみ。ルノーは,2015年より電気自動車の新モデル Zoé の販売を開始する。同モデル販売促進のため,4ヶ月6999DH でレンタルする予定(電力補給コストは100キロあたり15DH)。

Delphi ワイヤーハーネス製造工場⁶

26日,ケニトラのフリーゾーンにて,ラバハ設備・運輸・ロジスティクス大臣及びブーハドゥード商工業・投資・デジタル経済大臣付中小企業・インフォーマルセクター担当特命大臣は,ワイヤーハーネス製造の Delphi 社の工場開幕式を主催。同工場では1650の雇用を創出し,総売上871百万 DH を想定。ゼネラル・モーターズ子会社である Delphi 社のモロッコにおける3番目の工場。

5. エネルギー・電気・水

太陽光パネル国際見本市⁷

4日,カサブランカにて,エネルギー・鉱山・水利・環境省主催によるモロッコ初の太陽光パネル国際見本市の開幕式が行われ,アマラ同大臣,ブーサイド経済・財政大臣及びファッション・フィフリ モロッコ電力・水道公社(ONEE)総裁が参列。同省は中低圧(400MW,900MW)電力網に接続する再生可能エネルギー発電市場の国際競争への開放を進める。

イタリア企業の太陽光パネル発電への投資⁸

イタリアの太陽光パネル関係の中小製造企業(Brandoni Solare, Friem, RSE, Moroni & Partners, Raptech)及び太陽光パネル発電運営会社 Kenergia が,モロッコの太陽エネルギー発電分野に総額22百万ユーロを投資することを決定。Kenergia 社とモロッコエネルギー投資会社(SIE)間の協定締結により,Kenergia 社はモロッコで太陽光パネル部品の製造を開始する。

アルジェリア付近の送電網⁹

⁵ Les Eco 紙(11月7日)

⁶ エコノマップ(11月28日)

⁷ エコノマップ(11月6日)他

⁸ ル・マタン紙(11月17日)

⁹ エコノミスト紙(11月25日)

スペイン系多国籍企業 Abengoa が、モロッコ電力・水道公社(ONEE)との送電網整備計画契約(23百万ユーロ)を落札。モロッコ北東部にあるジェラダ地方の高圧送電網(総延長210キロ)の設計・維持管理・運営を担う。ジェラダ地方における電源確保と、アルジェリアとの送電補強が狙い。

6. その他

投資会社 SNI の食品加工部門所有株売却¹⁰

3日、王室系投資会社 SNI は、中央乳業(Centrale laitière)株の21.75%(31億 DH)をフランスのダノンに売却すること、及び所有する Cosumar(モロッコの製糖会社)株(全体の9.1%)の完全売却許可を申請している旨発表。ダノンは2013年より中央乳業株の過半数を保有しており、今回の売却でダノン所有分が90.86%、SNI 所有分が5%となった。これらの売却による収益は、SNI 株主が望む長期的投資新戦略にしたがい、モロッコ及びサハラ以南アフリカにおける技術革新分野への長期投資に宛てられる。

モロッコの社会・経済発展¹¹

Oxford Business group(OBG)が、モロッコ調査を始めた2004年から2014年までのモロッコ経済の変化を発表。銀行口座所有率は2004年の30%から2014年には60%に増加。携帯電話所有率は人口の5分の1相当だったのが、現在は130%強。自動車輸出台数は2万台/年だったのが現在15万台/年。航空産業関連企業は4社から100社以上に増加。

行政機関職員の女性割合¹²

17日、アンマンにて、ムーブディ首相付公職・行政近代化担当特命大臣は、「中東・北アフリカ地域におけるジェンダー、法、一般政策」をテーマとする会議に出席。同大臣によれば、モロッコにおける公的行政機関の職員に占める女性の割合は39.4%。うち60%は上級幹部職。民間セクターに占める女性の割合は45%のみ。特定の生産部門では女性が69%~87%を占める。

モロッコの肥満問題¹³

McKinsey Global Institut(MGI)の報告によると、モロッコにおける肥満問題にかかるコストは年間20億米ドル。対GDP割合は2.8%で、南アやブラジルと同等。同報告書は、モロッコにおける社会福祉関連コストとして、テロリズム、気候変動、喫煙等も挙げている。

在外モロッコ人の送金¹⁴

¹⁰ Les Eco 紙(11月4日)

¹¹ エコノミスト紙(11月7日)

¹² エコノマップ(11月19日)

¹³ Les Eco 紙(11月27日)

在外モロッコ人担当省主催のシンポジウム「在外モロッコ人による投資：争点と課題」において発表された統計によると、在外モロッコ人による送金の70%が消費、20%が貯金に充てられ、投資は10%のみ。在外モロッコ人による送金は、モロッコの主要な外貨獲得手段。投資に充てられる資金のうち、70%は不動産取得、20%は観光や産業部門への投資。投資額が少ない要因として、行政手続きの遅さ、司法制度の非効率性、投資コストの高さを指摘。

¹⁴ Les Eco 紙(11月28日)

II. 諸外国等との関係

1. 外国政府との関係

中国との科学技術協力¹⁵

17日、ラバトにて、第一回モロッコ・中国科学技術協力合同委員会が開かれ、ダウディ高等教育・科学研究・幹部養成大臣主催の式典において、科学技術共同研究所／センターの創設、及び優秀な若手科学者のためのプログラム支援(TYSP)に関する「ロードマップ」が調印された。上水道整備と下水処理に関する共同研究プロジェクト、及びケニトラ Ibn Tofail 大学内のハイテク科学パークの建設も含まれる。また、モロッコ電力・水道公社(ONEE)と Beijing NEWATT Environment Engineering は、上水道及び下水処理に関する専門技術と経験の共有に関する合意に調印。

第五回世界起業家サミット¹⁶

19日～21日、マラケシュにて、「第五回世界起業家サミット」が開催された。米国からはバイデン米副大統領、プリツカー商務長官等が参加、モロッコからはベンキラン首相、エル・アラミ商工業・投資・デジタル経済大臣等をはじめ、ほぼ全閣僚が開会式に出席。ベンキラン首相がモハメッド6世国王の演説を代読。

第一回モロッコ・ブラジル・経済フォーラム¹⁷

22日、マラケシュにて、第一回モロッコ・ブラジル経済フォーラムが開催され、両国の経済関係と貿易促進のため、次の協定が調印された：モロッコ経団連(CGEM)とブラジル経団連(LIDE)による貿易促進のための協定；モロッコ王立航空(RAM)とLIDEによるLIDE加盟企業を対象とするRAM航空券割引協定；両国保険分野大手(モロッコのHolmarcomグループ、ブラジル及び中南米の最大手 Albert Einstein グループ)の協力協定。

韓国との二国間関係¹⁸

24日、ラバトにて、ベンキラン首相と Chung Hong-won 韓国首相が会合を主催し、エル・アラミ商工業・投資・デジタル経済大臣、スビヒ文化大臣、在モロッコ韓国大使、韓国外務副大臣、商工業・エネルギー担当大臣、韓国首相府官房長ら両国閣僚が参加。インフラ、情報通信技術、人材養成、エネルギー、水資源管理及び環境保全分野での協力関係を強化することで合意。

第一回モロッコ・中国経済フォーラム¹⁹

¹⁵ エコノマップ(11月19日)

¹⁶ エコノマップ(11月20日)他

¹⁷ エコノマップ(11月25日)

¹⁸ エコノマップ(11月26日)

28日、北京にて、モロッコ経団連(CGEM)とモロッコ銀行連合(GPBM)の共催により、第一回モロッコ・中国経済フォーラム(テーマは「卓越した戦略的パートナーシップを実現する展望」)が開催された。モロッコからはメズアール外務・協力大臣, ラバハ設備・運輸・ロジスティクス大臣, エル・アラム商工業・投資・デジタル経済大臣, ハッダド観光大臣, アハヌッシュ農業・海洋漁業大臣, ブーサイド経済・財政大臣等計8名の大員, ベンサラ CGEM 会長, ケッタニ Attijariwafa 銀行総裁, ベンジェルン GPBM 会長(BMCE 銀行総裁)等の経済界要人が参加。両国投資家550人以上が出席。

Attijariwafa 銀行は、5つの金融機関(中国銀行, 中国開発銀行, China Exim Bank 等)と4つの企業(Huawei, Sepco III, Shandong Shangang, Haifen Fisheries)とのパートナーシップ協定に調印。中国銀行との協定により、アフリカでの商取引において人民元の利用を促進する。また、中国開発銀行との2つの協定は、モロッコ及びアフリカの中小企業を対象とする1千万米ドルの借款契約と、中国企業のアフリカ進出と両国貿易及び投資を促進するもの。

エネルギー・鉱物資源, 観光及び金融・銀行分野に関する約30の協力協定, 協約, 合意覚書が調印された。

第四回湾岸諸国 - モロッコ投資フォーラム²⁰

28 - 29日, カサブランカにて第四回湾岸諸国 - モロッコ投資フォーラムが開催された。湾岸諸国会議所連盟(Federation of GCC chambers)は、湾岸諸国からモロッコへの投資額が過去10年間の計50億ドルから、今後10年間には計1200億ドルまで増加すると予想。また、モロッコ - 湾岸諸国 FTA 締結に向けた交渉の開始を求めた。

2. 経済協力

EUのモロッコ支援合意²¹

5日, ラバトにて, ブーサイド経済・財政大臣とジョイ在モロッコEU大使は、2014年～2017年の統一支援枠(80億～100億DH)に関する合意議定書に調印。基礎的福祉サービス(30%), 民主的ガバナンス・法治国家への支援(25%), 雇用促進・持続的及び包括的成長への支援(25%)からなる優先分野に加え、市民団体への補足的支援(20%)を予定。

カタールの上水道整備支援²²

4日, ラバトにて, モロッコ電力・水道公社(ONEE), モロッコ内務省及び在モロッコ カタール大使が, カタールの Cheikh Hamad ben Khalifa al-Thani 前首長個人による ONEE のゲルミン地方上水道整備計画を対象とする資金供与協定(23.5百万 DH)に調印。

¹⁹ エコノミスト紙(11月28日), MAP 通信(11月28日), エコノマップ(12月1日)他

²⁰ エコノマップ(11月28日)

²¹ エコノマップ(11月6日)

²² エコノマップ(11月6日)

国際農業開発基金(IFAD)のモロッコ支援²³

10日、ローマにて、Abouyoub 在イタリア モロッコ大使と Mordasini 国際農業開発基金(IFAD)副総裁が、借款(25.5百万米ドル)と資金供与(50万米ドル)合意に署名。山岳部開発プログラムの第一フェーズに宛てられる。2030年までに山岳部住民の生活環境を改善し、貧困を30%減少させることが目的。対象住民は約38.5万人、6.4万世帯。対象地域はSefrou及びAzilal地方の32市町村で、その80%が山岳部。

JICAの南南協力²⁴

10日、モロッコ・日本・サブサハラアフリカの南南協力プロジェクト(2014年～2016年)第二フェーズが、「機械化:採算性と持続性のある農業の原動力」をテーマに開始された。JICA とハッサン2世農学・獣医学研究所による本プロジェクトでは、ベナン、ブルキナファソ、カメルーン、コートジボワール、ガボン、マリ、モーリタニア、ニジェール、コンゴ(民)、ギニア、セネガル及びトーゴの中央政府幹部を対象とした研修とワークショップが実施される。

アフリカ開発銀行のモロッコ支援戦略²⁵

アフリカ開発銀行が、2014年～2016年のモロッコ支援戦略を発表。ガバナンス改善とインフラ整備が優先事項。借款総額は2015年及び2016年に各930百万米ドルに達する見込み。同銀行はモロッコ当局に対し、民間セクターの活力強化、輸出競争力強化、若者の失業対策、地域間格差削減、女性の経済活動への参加の促進、水資源の保全を求めている。

国際機関による借款²⁶

アフリカ開発銀行(AfDB)の「2012年～2016年国別戦略中間報告」によると、モロッコに対する借款額が最も大きい国際機関は世界銀行で、国際復興開発銀行(IBRD)を通じ248億DH。経済・財政省による今秋の2015年財政法案発表の際に出された債務報告によれば、2008年～2012年には AfDB による借款額が最大だった(借款総額の29.1%が AfDB, 23.8%が IBRD, 20.5%が欧州復興開発銀行(EBRD))。2013年には借款総額の28%が IBRD, 27%が AfDB。IBRD を通じた世界銀行の対モロッコ借款額は過去10年で5倍増。ただし、各国国際協力機関を含めると、フランス開発庁の借款額が最高。公的債務の35.6%が対国外。AfDB の同中間報告ではモロッコに対し、民間部門の活力強化、輸出競争力の改善、若者の失業対策の必要性を挙げ、ビジネス環境の改善を求めている。創設50周年を記念して、AfDB はモロッコの金融部門開発支援プログラムの第二フェーズを対象とする1億ユーロの借款協定に調印。市民と企業(特に中小企業)の金融サービスへのアクセスを改善するもの。

²³ エコマップ(11月12日), Les Eco 紙(11月12日)

²⁴ エコマップ(11月17日)

²⁵ ル・マタン紙(11月17日)

²⁶ Yabiladi(11月19日), エコノミスト紙(11月20日)

ヨーロッパの再生可能エネルギー部門投資²⁷

欧州復興開発銀行(EBRD)、ドイツ復興金融公庫(KFW)、欧州投資銀行(EIB)、フランス開発庁(AFD)が、モロッコの小規模な再生可能エネルギー計画への民間投資(特に設備調達)を対象とする融資プログラム「The Morocco Sustainable Energy Financing Facility(MorSEFF)」の開始で合意。EUの近隣諸国政策のひとつである「近隣諸国対象投資ファシリティ」の一環。モロッコの銀行経由で最低8千万ユーロを融資。工業、食品加工業、一般住宅による小規模発電及びエネルギー効率改善計画が対象。

3. その他

モロッコ人女性季節労働者²⁸

スペイン南部Huelva地方では、2001年よりイチゴ栽培部門でモロッコ人女性季節労働者を雇用してきた(2008年には1万3千人を雇用し最高記録)。今年のイチゴ苗の植え付け作業が始まったが、モロッコ人女性季節労働者枠は無し。経済不況のため、同地方政府はスペイン人及び正規滞在許可を持つ外国人労働者のみを雇用。来年2月に始まる収穫期には、現地雇用でまかなえない場合に限りモロッコ人女性季節労働者が最大2000人雇用される。

フランスとの機械工業部門の提携²⁹

6日、パリにて、下請け産業見本市「MIDEST2014」が開催され、モロッコ金属・機械・電気機械産業連合(FIMME)とフランス機械産業連合(FIM)がパートナーシップ協定に調印。新興市場、特にアフリカ市場への進出における協力関係強化が目的。フランス側はモロッコのアフリカにおける戦略的プレゼンスを利用でき、モロッコは自動車産業、航空産業、鉄道、太陽エネルギー部門におけるフランスの知見を享受できる。

第三回アジア・ビジネスフォーラム³⁰

13日、ラバトにて、Fondation diplomatique 主催による第三回アジア・ビジネスフォーラムが開催され、シュバニ国会関係担当大臣、Mittal インド商工業大臣等が参加。250人以上の参加者がモロッコとアジア各国の二国間及び多国間貿易の促進について議論。

IMFのモロッコ経済評価³¹

17日、ラバトにて、モロッコでの2週間の調査・協議を終えたドーファン IMF 協議団代表が記者発表を開いた。インフレ率と貿易赤字が低いこと、外貨保有高の上昇、エネルギー輸入額の下落、財政赤字の改善を評価したが、社会・経済的格差、教育及び失業問題を指摘。また、モ

²⁷ ル・マタン紙(11月21日)

²⁸ Les Eco 紙(11月4日)

²⁹ エコノマップ(11月10日)

³⁰ エコノマップ(11月14日)

³¹ AFP 通信(11月17日)、Les Eco 紙(11月19日)他

ロッコにおける年金制度改革は緊急課題であると表明。年金基金の累積赤字は日々深刻化しており、年金制度の持続性確保と受給対象者の拡大を求めた。年金制度改革は補助金制度改革と並び、ベンキラン内閣の重要課題。政府は退職年齢を65歳に漸進的に引き上げる方針であるが、各種労働組合が反対している。